

令和 5 年 9 月
東京三協信用金庫

独立行政法人 国際協力機構(JICA)が発行する 「防災・復興債券(サステナビリティ債券)」への投資について

東京三協信用金庫(理事長:中島久喜、以下当金庫)は、「独立行政法人国際協力機構(以下 JICA)」が発行する「防災・復興債券(サステナビリティ債券※)」への投資を実施いたしました。

JICA は、開発途上国の持続的な社会経済発展を支援する政府開発援助(ODA)の一元的な実施機関であり、JICA が発行する債券によって調達された資金は、JICA が実施する有償資金協力事業に充てられ、開発途上国の社会的課題や環境面の課題解決に貢献する出融資に活用されます。(石炭火力発電事業を除く)

今回の「防災・復興債券」によって調達された資金は、近年、自然災害が開発途上国をはじめ世界各国で頻発化し被害が甚大化していることを踏まえ、開発途上国の防災及び自然災害からの復興を支援する有償資金協力事業に充当されます。

防災・復興債券への投資が国際経済社会の健全な発展のために活用されることにより、地域社会の発展に繋がっていくことを期待し、投資を決定いたしました。

今後も、当金庫はその公共性・公益性に鑑み、持続可能な社会の形成に向けた社会的責任を果たしていきたいと考えております。

※ 調達資金の使途が、社会的課題の解決に資するものであること(ソーシャル性)及び環境改善効果があること(グリーン性)の双方を有する債券。JICA のサステナビリティ債券は、独立した第三者機関である Moody's より、国際資本市場協会(ICMA)が定義するサステナビリティ債券の特性に従った債券である旨のセカンドパーティーオピニオンを付与されています。

 東京三協信用金庫

この街との“つながり”が誇りです